

活動のご報告

7月期は、3箇所の試験地調査、日光森林管理署で開催された「遠隔操縦式草刈機のデモンストレーション」、群馬森林管理署管内で実施された「地上型レーザースキャナ（OWL）操作説明会」に参加しました。また、日光森林管理署において、委託事業で実施している「獣害防護柵点検業務」に同行しました。

関東森林管理局 森林技術・支援センター

○遠隔操縦式草刈機のデモンストレーション

令和4年7月8日 日光森林管理署管内の国有林において、日光森林管理署主催の「遠隔操縦式草刈機のデモンストレーション」が開催され、当センターから所長外2名で参加しました。

下刈作業は、雑草木を刈り払い、樹木の成長を促す重要な作業の一つです。しかしながら、夏季の炎天下で行うことから林業で最も過酷な作業となります。

この下刈作業の労働負荷を小さくするため、(株)JALUXからリモコンで操作する自走式草刈機の紹介と下刈りのデモンストレーションが行われました。

参加者からは、今後、低密度植栽や大苗植付けと組み合わせることで活用が可能ではとの意見がありました。



○地上型レーザースキャナ（OWL）操作説明会

令和4年7月12日 群馬森林管理署管内の国有林において、局資源活用課主催の「地上レーザースキャナ（OWL）操作説明会」が開催され、当センターから所長外3名で参加しました。

収穫調査においては、調査の公正性・客観性を担保しつつ、人材不足に対応した効率化・省力化を図ることが課題になっています。

このことから、課題解決に向け地上レーザーを導入し効率化に繋げていくこととしています。



計測作業

○ 獣害防護柵点検業務

令和4年7月22日 日光森林管理署で事業発注した獣害防護柵点検業務に同行させていただきました。

当センターで令和4年度から取り組んでいる技術開発課題「点検・補修を含めたシカ柵コスト最小化に向けたコスト把握手法の確立」の情報収集のため、ご協力いただいた委託業者と日光森林管理署職員の方々には感謝申し上げます。

茨城県では把握することが難しいシカ柵点検・補修の作業状況と、貴重な現場の意見を伺うことができました。



倒木処理



スカートネット補修